♪お知らせや学校だよりのカラー版、行事予定等を学校ホームページで掲載しています。ご覧ください

高く　広く　強く　豊かに

学校だより

2026（令和８）年９月 15 日
伊賀市立阿山中学校
No.8　伊賀市千貝 10 番地
http://www.iga.ed.jp/ayama-j/



～全国学力・学習状況調査　結果報告～

この調査は、毎年全国の小学６年生と中学３年生を対象に４月に実施しています。生徒の学力学習状況を把握し、授業や生活の改善に役立てることを目的として、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査も実施しています。文部科学省から公表された調査結果に基づき、本校の状況と課題をお伝えします。

１．教科に関する調査結果について

中学校では、国語・数学の２教科を毎年実施し、理科・英語を３年に１度程度で実施します。今年度の教科に関する調査は、国語と数学、そして英語の３教科を実施しました。

＜今年度の結果＞

国　語	数　学	英　語
全国と比べて上回っている （全国比＋５ポイント以上）	全国と比べて上回っている （全国比＋５ポイント以上）	全国と比べて上回っている （全国平均スコア以上）

＜国語＞

問題の内容を読み取り、読み取った内容や得た情報を「自分の言葉でまとめる力」が強いという結果になりました。また、内容を要約したり、まとめたりして「自分の言葉で表現する」問題も比較的答えています。弱みとしては、文法をはじめ言葉に関わる問題が課題でした。



今後、教科書の内容理解とともに、自分の考えや感想を文章で表現するための語彙力をさらに高めることが必要です。文章の内容について自分の言葉で説明する活動を取り入れていきます。さらには、日常的にさまざまな題材で長短問わず文章を書かせる機会を大事にしていきます。また、説明文でも文章の構成や物語の表現など、文章をじっくり読み、言葉に注目することを意識させていきます。

＜数学＞

データの活用や数と式の領域においては、全国や県の正答率に対して大変高くなっている問題がほとんどで、確率に関する問題が低い結果となりました。

関数の領域では全国や県の正答率とほとんど変わらない値であります。特に、グラフから必要な情報を読み取る問題に関しては、高い状況です。ただ図形の領域の証明やその仮定に関する問題は低く、数学的に説明できる力をつける必要があります。

２学期に学習する相似や円の単元でも、証明問題を学習するうえで再度、証明の仕方や考え方などの復習も入れながら指導していきたいと考えています。



＜英語＞

聞くことや書くことの領域では、全国や県の正答率に対して高くなっている問題がほとんどで、記述式の問題が大変高くなっています。ただ、選択式の問題だけ低い結果となりました。弱みとしては、英文における要点や必要な情報を読み取ること、読み取ることによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が低い状況にありました。

英語科においても、まずは読み取る力を身につけていく。また、ふだんから教科書の本文を使い、さまざまなパターンで内容を理解するとともに、よく使う単語や連語、既習文法を使って英作文するなどの学習をすすめていきます。



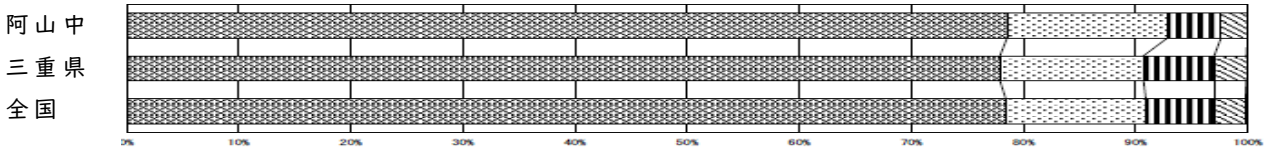
2．生徒質問紙調査結果について

「生徒質問紙」は、アンケート形式で生徒一人ひとりが自分のことについて振り返りました。紙面の関係上一部になりますが、全国との比較から本校の特徴をお知らせします。グラフについては、阿山中生の強みと考えられる項目の文頭に「○」、課題と考えられる項目の文頭に「●」を表示しました。

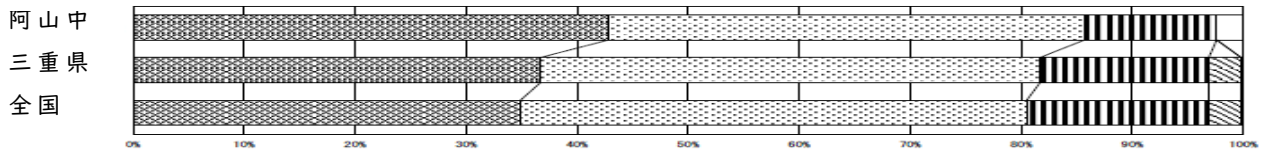
※個々の質問に対してグラフ左側から「1.当てはまる　2.どちらかといえば当てはまる　3.どちらかといえば当てはまらない　4.当てはまらない　5.その他　6.無回答」の割合になっています。また、項目の【　】内は、「1」または「2」と回答している割合を示しています。

【本校の強み】

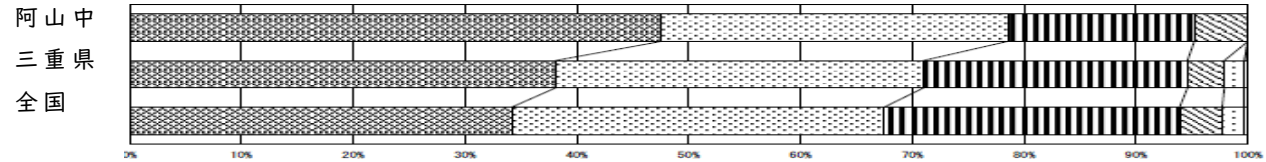
○毎日朝食を食べていますか【92.9%】



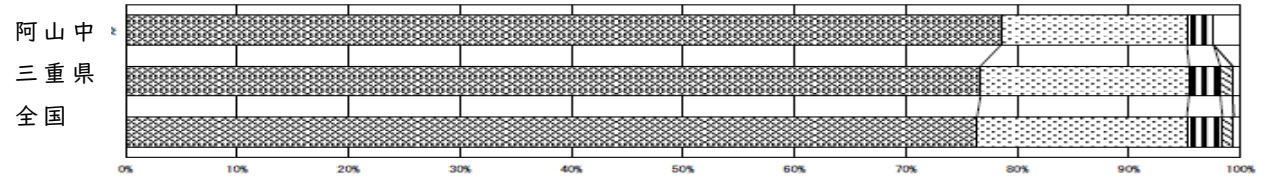
○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか【83.8%】



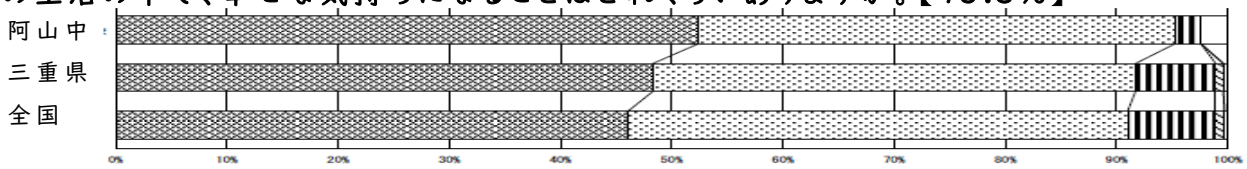
○あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。【78.6%】



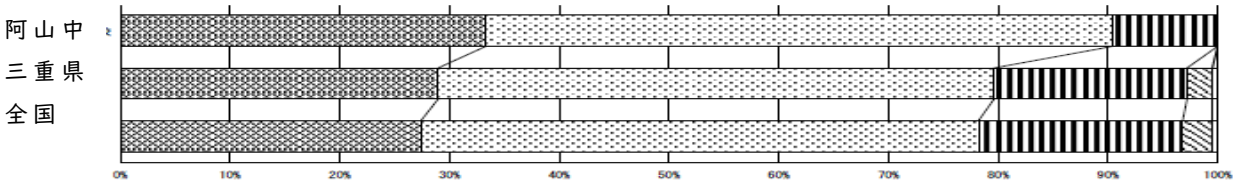
○いじめは、どんな理由があってもいけないことと思いますか。【95.3%】



○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。【95.3%】



○分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。【90.4%】



とりあげた項目以外では、国語・数学・英語などの教科に関する質問で、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」などで全国を上回る回答がありました。今後もさらに生徒が興味や関心を持って「もっと学びたい」と思える内容や授業改善を進めていきます。

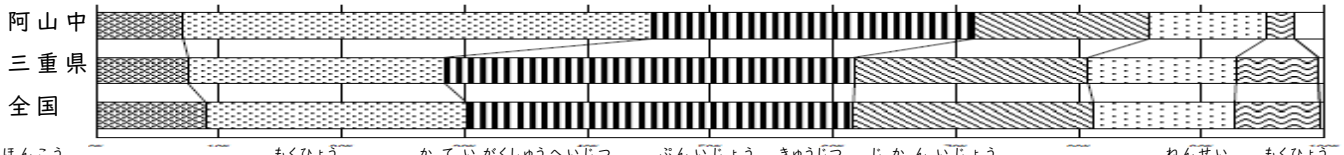
【課題】

今年度も大きな課題と考えられるのは、昨年同様、家庭学習の時間の少なさです。今回の調査では、「2時間以上」が全国や県を上回りましたが、「学力を定着させるための努力はできていない」人も少なくないということがこの結果から分かります。

●平日の家庭学習時間（塾やインターネット学習含む）

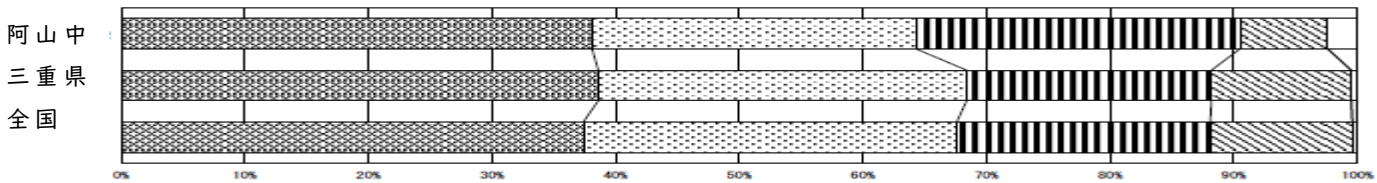
【①3時間以上：7.1%】【②2～3時間：38.1%】【③1～2時間：26.2%】
【④30分～1時間 14.3%】【⑤30分以内 9.5%】【⑥全くしない：2.4%】

＊2極化が見られます。2時間以上の人が 26.0%に対し、1時間以内という人も 34.0%います。



本校のマニフェスト目標は、「家庭学習平日90分以上、休日3時間以上」ですが、3年生の目標は、平日2時間以上、休日4時間以上です。今日から、今ここから改善していきたいと思います。

●将来の夢や目標を持っていますか。【64.3%】

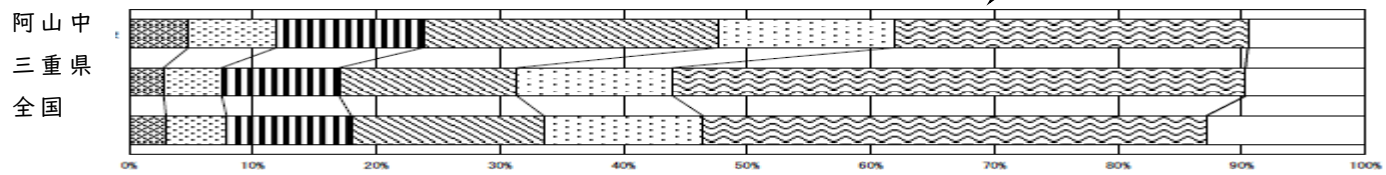


●平日の家庭読書時間（電子書籍含む。教科書、参考書、漫画、雑誌は除く）

【①2時間以上：4．8％】【②1～2時間：7．1％】【③30分～1時間：11．9％】

【④10分～30 分：23．8％】【⑤12分以内 14.3％】【⑥全くしない：28.6％】

＊30分以上の回答が、全国・県を上回っていますが、30分以下が70％近くなっています。



学校では、具体的な将来像をイメージできるような学習活動を進めるとともに教育相談等でもキャリア教育の視点を持って将来の夢や目標を一緒に考えていきます。

読書の秋！

家庭での学習時間の確保はもちろん大切ですが、「読解力」をつけるには読書は欠かせません。朝の読書のように毎日決まった時間に、まずは 10分間から始めてみてはどうでしょう。1冊読み切ったら確実に「達成感」がありますよ！



＜読書の効果＞

① 教養や知識が身に付く！

これまで知らなかったことを知るきっかけになります。新しい知識や教養が身に付くため、世界が広がります。読書でインプットした知識は思考の材料になり、必ず自分を豊かにしてくれます。

② 語彙力、文章力が養われる！

本を読むとたくさんの言葉が出てきます。知っている言葉はもちろん知らない言葉も出てくるので、必要に応じて調べることもあると思います。すると、自然とたくさんの言葉が身に付くはずです。

③ 想像力が豊かになる！

読書は、筆者がどのような意図で書いたか、物語なら登場人物はどのような気持ちだったのか、といった点を考えながら読むと思います。明らかになっていないことを想像するということは、他人に共感したり相手の気持ちになって考えたりする「精神的な成長」にも役立ちます。

④ コミュニケーション能力が高まる！

会話のキャッチボールをうまくおこなうには、自分の「感じていることや考えていること」をぴったりの言葉で表現する能力が欠かせません。会話の引き出しが増えることも、スムーズなコミュニケーションにつながるはずです。

⑤ ストレス解消になる！

ストレスを減らし「リラックスしやすい状態」をつくれるというのも、読書効果のひとつです。実際に、読書によって、イライラした気持ちがおさまったり前向きな気持ちになったりした経験がある人もいるのではないでしょうか。非日常を読書で疑似体験することですっきりした、というのもそういうことです。